

事務事業評価表

○基礎情報

課名		農業水産課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	56	農業・水産業の振興と農地・海浜の保全・活用を進める	山中 良一	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	9 人	3 人	0 人	2 人	13.69 人	1,689 時間	15.6 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
耕地面積	350ha	345ha	349ha	348ha	348ha
漁業の組合員数	60人	65人	61人	60人	61人
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	異業種交流の場の提供
2	経営の安定化支援
3	地産地消の推進
4	海岸侵食対策の推進
5	海岸の保全・活用の推進
6	農地の保全・活用の推進

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円)	R元予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止		
					H30決算(円)	R元決算(円)										
1	柳島向河原地区土地利用推進事業	6	0.16	一般	39,187,000 35,859,703	33,648,000 20,815,353	大雨時に浸水する地区内雨水排水施設の整備を行い、浸水被害による農作物の被害を軽減させ、都市農業の活性化の拠点づくりを行う。圃場への浸水被害軽減の効果はでている。	整備延長	雨水排水管 L=324.7m	雨水排水管L=152m	A	変動なし				
2	畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業	2	0.16	一般	0 0	0 0	畜産施設整備等を支援し畜産の生産力強化を図るため、補助金を交付する。令和元年度は相談実績無し。	補助金の申請相談	年1件	年0件	実績なし	-				
3	農とみどりの整備事業	6	0.27	一般	7,161,000 5,850,217	6,600,000 5,068,631	老朽化の著しい、農用地内の農業施設(農業用排水路)の機能回復をするため、県補助金を利用し整備を進めた。	事業の進捗状況	農業用排水路整備延長 L=50m	農業用排水路整備延長L=35m	A	変動なし				
4	農業用排水路整備事業	6	0.45	一般	5,216,000 5,193,863	12,221,000 11,325,769	老朽化した農業用排水路や農業用ポンプの整備や、農業用排水路としての役目を終えた施設の撤去や改修を行い、農業事業者の利便性向上につながった。	整備状況	農業用排水路整備 L=200m	農業用排水路整備延長L=208m 農業用ポンプう更新N=1式	S	変動なし				

5	畜産振興事業費	2	0.56	一般	2,343,000 1,254,226	2,756,000 2,037,383	畜産技術の向上と畜産経営の安定化を図るため、畜産農家を支援し、畜産経営環境の向上につながった。	畜産経営環境指導・支援回数	年2回	年2回	S	変動なし		
6	援農ボランティア事業	6	0.45	一般	359,000 356,789	346,000 343,494	人手が足りない農家にボランティアを派遣し、新規耕作放棄地の発生を防ぐ。援農ボランティアの担い手となる、育成講座の受講生は増えており今後の幹旋件数の増加につながった。	幹旋成立件数	165件	201件	S	変動なし		
7	環境保全型農業推進事業	2	0.11	一般	3,300,000 2,288,682	3,124,000 2,108,496	環境保全型農業について、生産者との意見交換を通じ、様々な考え方や認識について深めることができた。。	土壌改良事業を含む環境保全型農業取組農家数	90件	95件	S	変動なし		
8	農業制度資金利子補給事業	2	0.17	一般	43,000 20,160	32,000 15,552	必要な融資資金に対し利子補給を行い、農業経営の安定化に努めた。将来的な金利上昇リスクに備えて事業継続することで、安心した営農環境を整備することができた。	利子給付の支給件数	3件	1件	A	変動なし		
9	市民農園・家庭菜園事業	6	1.37	一般	726,000 561,671	663,000 367,429	農作業を通じて農業への理解と関心を深めてもらうとともに、農地の有効利用につながった。	市民農園新規開設数	5か所	4か所	S	変動なし		
10	農産物地産地消推進事業	3	1.88	一般	19,705,000 16,964,516	20,099,000 15,547,041	消費者に対する地場農産物の魅力の発信及び農業者への支援を行う事で、地場農産物の生産、消費の推進を図る。花の展覧会や、年2回の農業まつり等を通じて地場産の作物のPRを行うことができた。	地場産農畜水産物普及への取組件数	10件	10件	S	増加		
11	水田保全対策事業	6	0.19	一般	170,000 162,045	90,000 89,980	水田を保全することにより生産活動の場の確保、環境防災景観等多面的機能の維持が図られた。	水田保全対策実施面積	45a	0a	実績なし	変動なし		
12	農作物鳥獣病害虫対策事業	2	0.16	一般	2,388,000 2,167,718	2,381,000 2,324,719	農作物への鳥獣、病害虫被害を抑制することにより農家の経営の安定化につながった。	大規模被害の発生件数	0件	0件	S	変動なし		
13	水産物供給基盤機能保全事業	2	0.68	一般	85,171,000 65,580,732	61,000,000 60,893,800	老朽化した漁業施設の機能保全工事による施設長寿命化を図り、計画に若干の遅れがあるものの、約58%の老朽化対策工事の実施ができた。	工事進捗率	第4期工事 (49.7%)	第4期工事 (57.9%)	S	変動なし		
14	漁港区域内道路整備事業	5	0.10	一般	0 0	0 0	茅ヶ崎海岸グランドプランに基づいたA地区内道路の整備をし、来訪者の増加に対応するもの。令和元年度は庁内調整会議にて協議した結果、今後の整備方針の方向性が定められた。	事業の推進	庁内調整会議	庁内調整会議	S	変動なし		
15	漁港北側駐車場・多目的広場等整備事業	5	0.95	一般	0 0	0 0	茅ヶ崎海岸グランドプランに基づき漁業関係者や海岸来訪者のための駐車場及び多目的広場の整備を実施するため、関係団体等との協議を進めた。	事業の推進	庁内調整会議	庁内調整会議	S	増加		
16	漁業近代資金等利子補給金交付事業	2	0.03	一般	0 0	0 0	沿岸漁業近代化を推進するため、資金融資を受けた漁業者に対する利子補給をし、漁業経営の安定を図るもの。令和元年度は実績なし。	交付件数	1件	0件	実績なし	-		
17	漁港区域内堆積砂対策事業	4	0.27	一般	2,684,000 1,796,202	2,684,000 2,250,950	漁業活動に支障のある漁港施設内への飛砂侵入の防止をし、漁業活動の安定化を図ることができた。	堆積砂除去作業委託の回数	6回	6回	S	変動なし		
18	水産業の振興(水産物の販売促進)事業	2	0.24	一般	20,000 19,824	20,000 12,960	市内水産物のPRと販売促進を行う事で、茅ヶ崎産水産物ブランドの開発を行い、新たな水産加工物の掘り起こしをすることができた。	協議回数	年4回	年4回	S	変動なし		
19	海岸侵食防止対策事業	4	0.22	一般	3,325,000 3,294,000	4,140,000 4,114,000	漁港西側に堆積する砂を県の養浜事業と連携し、海岸侵食の著しい中海岸へ運搬養浜し、浜幅50メートル延伸に向け、一定の効果が見られた。	堆積砂搬出量	3,100m ³	3,000m ³	S	変動なし		

20	海岸周辺安全対策事業	5	0.14	一般	470,000	470,000	ライフセービングクラブとの打合せにより、海岸利用についてのマナー周知とライフセービング活動の支援を行うことができた。	ライフセービングクラブとの打ち合わせ回数	4回	4回	S	変動なし		
					470,000	470,000								
21	海岸保全区域維持管理事務	5	0.21	一般	912,000	908,000	海岸保全区域内を適正に管理することで、海岸来訪者の利便性向上を図ることができた。	仮設トイレ管理日数	250日	250日	S	変動なし		
					885,600	891,372								
22	海産物地産地消推進事業	3	0.15	一般	0	0	安全・安心な海産物の提供と漁業振興・漁業経営安定のため地産地消イベントを開催し、地場産海産物と、触れ合う場を設け、地産地消を実感していただけた。	開催回数	さかなの市：年2回 わかめまつり：年1回	さかなの市：年1回 わかめまつり：年1回	A	変動なし		
					0	0								
合計					R元予算(円)	151,182,000								
					R元決算(円)	128,676,929								

3 実施計画事業（政策的事業（政策的事業のない課はいは一般管理事務等））の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
農業水産課の令和元年度における第4次実施計画の事務事業数は22事業であり、全てが政策的事業である。 これらの事業の評価結果は、「S」13事業、「A」6事業、「実績なし」3事業となっており、当初の予定通りの事業で成果を出すことができた。 農業水産課の事業は、「地産地消の推進」、「海岸の保全・活用の推進」について、関連する他部局や市民と連携して効率的な事業を推進し、当初の予算要望どおりの委託料、工事請負費が支出され、概ね順調に事業が実施できたものと考えている。 一方、職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,689時間、一人当たりに換算すると月平均15.6時間であり、前年度の総時間2,994時間、一人当たり月平均22.7時間と比べ減少となっている。 事業全体を通して、事務効率の向上を念頭におき、慣例により作成していた不要な書類の廃止等の見直しを図り、人員不足の状況下で時間外勤務時間の減少を達成しつつ、前年と遜色ない成果を残している。 さらに、近隣市町の担当課との情報交換を継続して行うことにより、情報収集と業務遂行に役立てた。														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
－	－	－

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
－	－	取り扱い事務全般において、一次産業従事者より制度活用意思表示があれば支援する必要があるとあり、体制を維持整備する必要があるため。